広 自 由律俳句 報文芸

お おくさの会編集室選

何かいい事ないかと水やりしながら花に聞く 茶 屋 長谷川由美子

秋の空に映える赤い梅もどきの実

秋風に猛暑忘れホッと一

息

神戸 <u>'</u>上 柴田 篤子

赤や紫桃色と種がはじけて鳳仙花

谷 長尾 智惠

木漏れ日の

ひかりもとめる

風が秋やっと生り出したピーマンの青々

宝

茶 屋 小林 道子

食の秋

医師看護師さんの

生 Ш 渡邊

圭子

茶 屋 藤原

寿郎

米袋片付き後はただ検査の結果を待つ

俳 旬

ガザの子へ

駄句駄句会編集室

この無花果を 届けたい 萩 原 岡本

風が来て 風となりゆく 秋の蝶

宮

内

木村萬佐子

健三

秋天や 線路えがきし 飛行雲

秋の草 宮 宮 内 内 舩越 田邊登志美

ありがとう 言温し 菊日和

矢 戸 和田 玲子 淑子

秋の陽に 鉱山現す 青春や

やさしさよ 神戸上 笹間 矢田貝

下石見

元

石田由香里 (080-3052-9933)

博美

(090-9734-1887)

駄句駄句会編集室

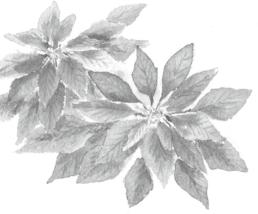
天地異変

家財おしまず まず逃げろ

霞

Ш

渡邊 文照



「サンタクロース」

すぼめて丸くした右手 あごの下で握り下ろす。 夕さんが袋を担いで楽 しそうに揺れているような 動きをする。

「手話表現には、色々な表現方法があります。」

湯 河 Ш 司郎

下石見

三郎

②両手のひらを

かす。

上に向け、交

互に上下に動

こだまするのはフクロウの声

上石見 下石見 三郎

どんよりと見通悪しき雲行に

秋晴れにぽっかり雲や紅葉狩り 夕間暮れしじまを破り里山に

短

歌

上石見 福田 福田 輝之 輝之

落葉踏みしめノルディックウォーク

現実重ね世相読み取る

自然満喫天体の郷

肩にほほのせ孫は眠りぬ

下石見 佐伯みすず

下石見 佐伯みすず

山いらぬ畑もいらぬ田もいらぬ

命もいらぬと思う時あり

個人での投稿もできますので、お気軽にお送りください。

やってやる気持ちは大いに有るけれど
体が思うに動かぬ悲し

朝明に夜は日々と明けゆきて 秋ゆかば山の小路を静々と

広報にちなんでは、みなさんから投稿のあった俳句・短歌・川柳をご紹介しています。

「手話教室のお知らせ」

な手話の学習会を開催しています。手では、1ヶ月に2回のペースで基本的 える手話。 話に興味をお持ちの方は、 増えています。 例制定後、 手話を学んでみませんか。 手の動きや顔の表情で意思を 手話を見かける機会が 鳥取県では手話言語 日南町手話サークル 緒に 条伝

12月の日程

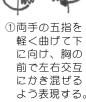
裕子

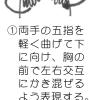
問合せ】 場所:文化センター第3会議室 3日(日)14時~15時30分

「忙しい・せわしい・慌ただしい」

軽く曲げて下 に向け、胸の 前で左右交互 にかき混ぜる

①両手の五指を よう表現する。





広報にちなん令和5年12月